

## COVER STORY

教師と生徒の肖像

# キラキラしよう!

表紙の学校 群馬県立高崎高校 <sup>かべかずよし</sup>加邊一芳先生

PDF版では裏表紙の写真は公開していません。  
ご了承ください。

「男はキラキラしよう。目標を高く持ち、最後まで諦めずに粘り強く挑戦していこう」。2学期最後の1学年集会で、学年主任の加邊一芳先生は生徒に訴え掛けた。群馬県立高崎高校は県下有数の進学実績を誇る男子校だ。例年2桁の最難関国立大合格者数を出す一方、バレーボール部が全国大会に、囲碁部などが関東大会に出場する。毎年1万人以上が訪れる文化祭や、1か月前から練習に励む前橋高校との定期戦など、生徒は何事にも力いっぱい取り組む。だが、加邊先生は、「受験でも部活動でも、目標まであと一步の苦しい時を踏ん張って乗り切る力が付いていない」と歯がゆさを感じている。「生徒は将来、地域や日本を引っ張る存在になることでしょう。だからこそ、目標に貪欲に向かっていき、失敗も挫折もたくましく乗り越えて、人間的な魅力を高めてほしいのです」。

模試の後には、上位50人を対象に学年主任面談を行う。加邊先生に「十分に力があるのだから、頑張れ!」と発破を掛けられ、ある生徒は自ら難関大合格を目標に掲げて取り組み始めた。9月には、1年生全員が東日本大震災の被災地を訪ねた。被災と復興の現状を目の当たりにし、生徒は様々な思いを巡らせた。加邊先生は担当する国語の授業でも、生徒が考えを深め、自分を見つける機会を増やそうと、演習問題を多く取り入れ始めた。しかし、分かりやすい板書計画を綿密に立てて授業を進めてきた先生にとって、生徒が問題の解答を板書し、生徒と質疑応答をしながら解説を進めるという方法を採用することは、これまで築いてきた指導法の変更を意味していた。教壇に立って26年。それでも「指導の探究に終わりはありません」と語り、先生自身、勉強を続ける。加邊先生の生徒への期待は高い。だからこそ、生徒にも自分にも厳しくあるのだ。

# VIEW21

ビュー21 高校版 Volume6 2015年2月号

2015年2月20日発行/通巻第350号 発行人 山崎昌樹 編集人 春名啓紀 発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所  
©Benesse Corporation 2015

お客様  
サービスセンター

[フリーダイヤル] 0120-350455

受付時間 月～金 8:00～19:00/土 8:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17